

7 番（小川義昭君）

改めて市長に、市長御自身が目指す白山市の将来像、まちづくり像を今回お尋ねしたのですが、今お聞きしておりますと、前回の答弁と余り変わらない答弁でございましたので、私自身としては非常に残念であります。

いずれにしましても、市民が夢と希望を抱ける白山市のまちづくりを目指していただきたいと思います。

ここまでは総論であります。引き続き、各論について質問いたします。

私は平成 23 年 9 月、平成 24 年 9 月の各定例会においても、白山市のまちづくりに対する考え方を作野市長にたどしました。

作野市長は、こう答弁されておられます。

「都市計画マスタープランでは、中心市街地ゾーンを J R 松任駅、J R 美川駅、鶴来本町通りの各周辺としている。しかし、中心市街地活性化法に基づく中心市街地の考え方は、小売業者や公共施設等が高度に集積している地域であり、本市に原則 1 カ所とされている。本市で最もこの要件を満たすと考えられる地域は J R 松任駅周辺であり、商工会議所や商店街と連携し、中心市街地の活性化を研究してまいりたい。」

この点に関しても、その後約 2 年間が経過していますが、一向に J R 松任駅周辺の中心市街地における今後の具体的なイメージは見えていません。本市のまちづくりのビジョンとなる大変重要な課題にもかかわらず、遅々として行政が機能を果たし得ない状況は、大変憂慮すべきかと思えます。その後 2 年間の経過説明、そして今後の方針をお聞かせください。